

「核兵器のない世界」の願いを千代田区から

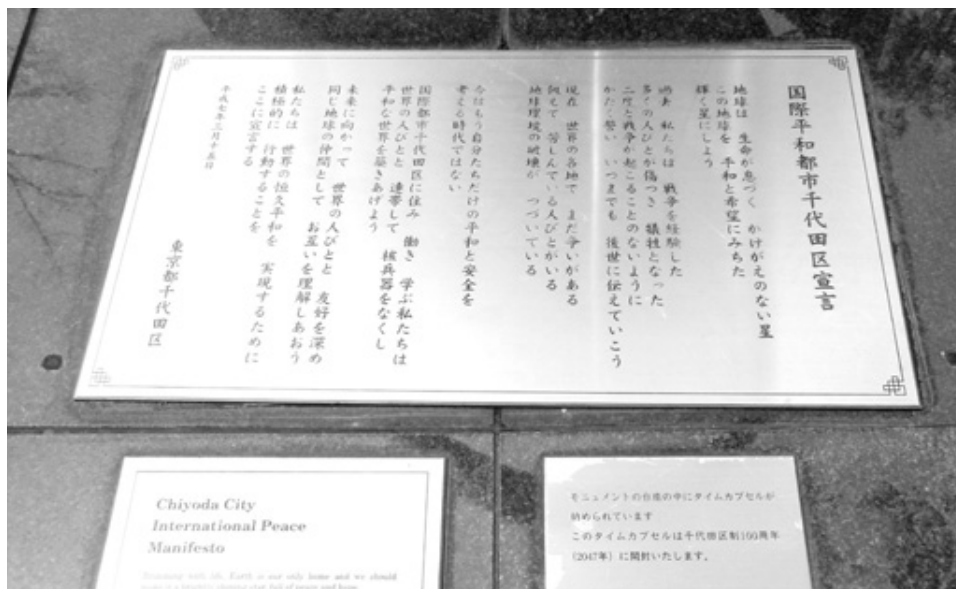
三月十五日は「国際平和都市千代田区宣言」(写真)がなされてちょうど十五周年にあたります。石川雅己千代田区長はこの日「平和市長会議(※)」に加盟し、NPT(核不拡散防止条約)再検討会議に向けて運動がすすめられている「核兵器のない世界を」の国際署名に署名しました。

また、区議会は「核兵器廃絶と恒久平和に向けた取組みを求める意見書」を全会一致で可決しました。

「意見書」は、

「今年五月に開かれるNPT再検討会議で実効ある核兵器廃絶の合意がなされるよう主導的役割を果たす」ことを政府に強く求めています。

平和を願う国民の共同の力が、核兵器廃絶の確かな流れを作りだしています。



※「平和市長会議」

国を超えて世界の都市が連携し、核廃絶の実現とともに、飢餓、貧困、難民、人権、環境などの諸問題を解決し、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とする。一九八二年に当時の荒木武広島市長がよびかけ、現在、世界一四三力国、三七九三都市が加盟。

意見書

「子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化」を全員一致で可決

「子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める意見書」を全員一致で可決しました。

しかし、党区議団も提案者となった、「米軍の普天間基地の無条件返還を求める意見書」、「中央市場の築地から豊洲への移転計画を中止し、現在地での再整備を求める意見書」は賛成少数で否決されました。



旧庁舎跡地の活用についてご意見をお寄せ下さい。

第一回定例会最終日に、区役所の旧庁舎跡地に関する特別委員会が設置されました。

旧庁舎跡地の活用についてご意見、ご要望をお寄せ下さい。今後の特別委員会での議論に活かしていきます。

ご意見は、ご要望は下記へ
TEL 5211・4324
FAX 5275・6898



旧千代田区庁舎

メール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyou.ne.jp

法律・生活相談

身近な問題から法律相談まで、みなさんの立場にたって、ともに解決の道をさがります。お気軽にご連絡ください。

日本共産党千代田区議団控室(直通)
☎ 03-5211-4324



木村 正明

九段南4-7-22 メゾン・ド・シャルー405
03-3265-2979
Eメール kimura24@agate.plala.or.jp



飯島 和子

富士見1-5-3 NTハイム406
03-3222-7783
Eメール kazuko4685@yahoo.co.jp



福山 和夫

神田小川町2-4フィールドクレストビル10階
03-3291-0232
Eメール kfukuyama02@yahoo.co.jp

住みつづけられる千代田を 日本共産党千代田区議団だより

発行／日本共産党千代田区議団 九段南1-2-1 ☎ (5211) 4324 FAX (5275) 6898
Eメール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyoku.ne.jp

二つのゼロ、二つの無料化実現へ

保育所の待機児ゼロ 特養ホーム待機者ゼロ

18歳までと75歳以上の医療費無料化

住民の要望を聞く（右から）福山和夫、木村正明、飯島和子の各区議、牛尾こうじろう区議団事務局長



第一回定例会を終えて

こんにち区民の八五%の方が「経済面での老後の生活」に「不安がある」としています（第三六回千代田区世論調査「二面参照」）。今定例会で問われたのは、この「不安」にどう応えるのかでした。党区議団は区民の「安心」をささえるための提案を積極的におこないました。そのひとつが「二つのゼロ」と二つの医療費無料化」です。「二つのゼロ」とは「保育園・学童クラブの待機児ゼロ」と「特養ホームの待機者ゼロ」です。「二つの無料化」とは「一八歳まで」と「七五歳以上」の医療費無料化です。みなさんと力を合わせ、実らせてまいります。

また、今定例会では二つの問題を通して区議会のあり方も問われました。ひとつは本会議や委員会に出席したとき一律に議員に支給される費用弁償問題です。いまひとつは区議会議員による口利き問題です。この問題でも、区民のみなさんの声をふまえた議会改革の提言を積極的におこなっていく決意です。

二〇一〇年四月

日本共産党千代田区議団

木村 正明
飯島 和子
福山 和夫

民の立場で積極的提案を行いました

第一回定例会（三月二十五日閉会）では一〇年度予算案が、臨時会（三月三十一日）では国保料値上げ条例案が審査されました。党区議団は、区民のくらしと福祉を支える提案を積極的におこないました。

区民のくらし、福祉を支えるために

二つのゼロと二つの無料化

第一は、「二つのゼロ」と「二つの医療費無料化」（一面参照）です。千代田区の保育所待機児は三十三名（四月一日現在）です。また特養ホーム待機者は二〇〇名を超えています。認可保育所を増設し待機児をなくすこと、待機者ゼロにむけ特養ホーム建設計画をつくることが急がれます。



中小ビルオーナーへの支援

第二は、中小ビルオーナーへの支援を強めることです。

中小ビルオーナーは、あのバブルを乗り越え、長年住み続けてこられた方です。そのオーナーのくらしを支えることは、同時に地域コミュニティの衰退を防ぐことにつながります。

中小ビルオーナーの条件変更金融機関が応じるようバックアップすること、住宅への転用助成制度の拡充を求めました。

マンション施策の拡充

第三は、マンション施策の拡充です。今日、集合住宅にすむ区民は全体の八割におよびます。それに見合った相談体制や支援策が求められます。「マンション管理適正化条例」（仮称）の制定、マンション住民を継続的・包括的に支援できる体制の整備などを求めました。

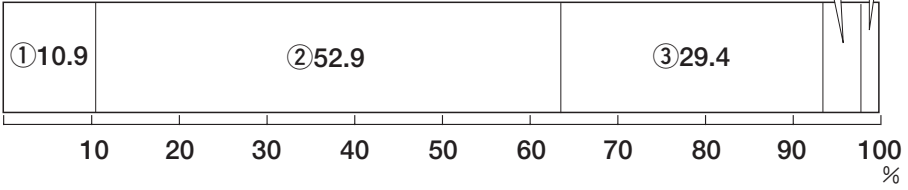
区民の目線で雇用破壊と負担増を告発

二〇一〇年度予算案のキーワードは「安心」です。その「安心」を脅かす最大の原因は雇用破壊と、社会保障の改悪による負担増です。この痛みを和らげることが「安心」につながるのではないのでしょうか。

ところが、区はこれまで二つのやり方で「官製ワーキングプア」をつくってきました。ひとつは、一貫して正規職員を減らし不安定雇用の職員（非常勤・派遣労働者など）に置き換えてきたことです。もうひとつは区の仕事の民間まかせです。いま図書館や児童館などで働く民間労働者は賃金も低く、

生活資金や住宅など、経済面での老後の生活についてどう感じていますか（〇はひとつ）

- ①まったく不安はない ②多少不安がある
③大きな不安がある ④その他 ⑤無回答



生活資金や住宅など、経済面での老後の生活について、「多少不安がある」52.9%が半数以上で最も割合が高く、「大きな不安がある」を合わせた「不安がある」は8割強となっている。

「第36回千代田区世論調査」

劣悪な労働条件におかれています。そのため、働き続けられず、サービスに影響しかねません。

福祉はどうでしょうか。一〇年度から被保険者一人当たりの国保料が平均で約一万五〇〇〇円もあがります。これらは「安心」とは逆向きです。

党区議団は、こうした理由から一〇年度予算案に反対し、①正規職員を計画的に採用すること、②公共サービスを担う民間労働者の賃金を改善するルールをつくること、③国保料を値上げしないことなどを強く求めました。



トピックス

子どものワクチン 助成実現

子どもの任意予防接種（ヒブ、インフルエンザ、小児肺炎球菌、みずぼうそう、おたふくかぜ）ワクチン助成が実現しました。

ヒブワクチンは、風邪と区別しにくい細菌性髄膜炎の予防に有効とされ、すでに一〇〇ヶ国以上で定期接種が行われています。日本でも運動が拡がり任意予防接種の扱いとなりましたが、費用が約三万円と高額です。党区議団は定期接種の実現と、ワクチン接種への助成を繰り返し求めてきました。

また、季節型インフルエンザについても、助成を求める子育て世代の声をとりあげてきました。



保育環境向上と総量拡大の中で待機児ゼロを

区は、保育需要が予測以上になったとして、旧今川中学校跡地に三カ年の限定で緊急保育施設を設

第1回定例会

10/2/25～3/25

くらし、雇用、福祉、区民

問われた区議会のありかた

今定例会では二つの問題を通して区議会のあり方も問われました。費用弁償問題と、職員採用のさいの区議会議員による口利き問題です。

費用弁償は廃止に

費用弁償とは、本会議や委員会に議員が出席をした際に一律五〇〇〇円が支給されるものです。中身は交通費です。二十三区議会をみるとすでに二つの区議会（杉並・荒川）が廃止し、十三区が二五〇〇円～四〇〇〇円に減額。五〇〇〇円を支給している区議会は千代田区など八区です。

今定例会には、三名の区民の方から廃止を含む見直しを求める陳情書が提出されました。この陳情書にどう応えるかが、各会派に問われます。党区議団は費用弁償を廃止する立場で力をつくします。

職員採用への

議員口利きに新事実

いまひとつは、議員の口利き問題です。昨年夏、区が大半を出資する財団法人「まちみらい千代田」の臨時職員が、スタンプカード不正事件を引き起こしました。今定例会では新たな事実

が公になりました。当該職員は、区議会議員の口利きで採用されていたことです。

そもそも議員の口利きは、区と議会の癒着をつくりだすとともに、職員間の不公平感と職務の不正さをうむ温床になりかねません。

党区議団は、予算特別委員会でのこの問題をとりあげ、真相を明らかにし、教訓を引き出すことは議会の責任と強調しました。引き続き、真相の究明と、議会改革に全力をつくします。

建設工事における騒音・振動等の軽減のために

建設工事の騒音は、近隣の大きな苦痛です。区の受ける「公害に関する苦情」のトップです。



騒音・振動測定器

党区議団は次の点で改善を求めました。①建設業者に「騒音に関する環境基準」を周知し、「努力目標」として改善を指導すること②現場で「騒音計」で観測し現状を認識した改善を奨励すること③麹町中学校建て替え工事など区の建設工事では、騒音・振動数値を示す電光掲示板等を設置し騒音・振動数値の「見える化」の模範となること。民間工事でも工事協定書のひな型に、電光掲示板等の設置を表記して促進すること。

区は「麹町中学校改築」では、騒音・振動測定値を掲示することをはじめ、「①」「②」についても改善の要求と一致する答弁をおこないました。



北の丸公園の枝垂れ桜

置することにしました。四〇名の定員で六月開設予定です。

党区議団は今回の「緊急避難的」対応だけでなく、子どもの安全・発達の保障を第一に考え、認可保育園の増設計画を持つべきと提案しました。これに対し、区は認可保育園の一園増設を「二十二年度中に進められるよう努力する」とのべました。

義務教育の保護者負担の軽減を

今定例会で教育委員会から、千代田区の学校徴収金の金額は、「東京都平均より高額」であること、「保護者負担の軽減にむけた努力が必要」との報告がありました。

教材をはじめ、給食や遠足は子どもたちの教育に必要なもので、他の自治体では、保護者の負担を軽くするため様々な努力がなされています。保護者負担軽減を実現させるため党区議団は全力を上げます。

